



## イベント紹介

### 成年後見制度専門相談

平成30年1月29日、2月5日・19日、3月5日・19日（月）

午前9時～午後3時 予約可能

ミレニアムセンター佐倉3F 相談室

成年後見制度について、司法書士のアドバイスが受けられます。（個別相談）

参加費  
無料

主催団体 佐倉市成年後見支援センター

ご予約・お問合せ 佐倉市成年後見支援センター ☎043-484-0698

### 認知症を学ぶ地域ミニ講座

平成30年1月28日（日） 午後1時30～3時30分（受付：午後1時～）

要申込み

高齢者ケアセンター はちす苑

参加費  
無料

認知症の病気や対応について、地域の認知症専門医から学びます。

主催団体 佐倉市役所 高齢者福祉課

お申込・お問合せ 佐倉市役所 高齢者福祉課 ☎043-484-6343

### —第36回ボランティアのつどい笑顔で会いましょう!—

平成30年2月11日（日/祝日）

午前10時～午後3時（受付：午前9時30分～）

志津コミュニティセンター

参加費  
無料

「人生の第二ステージを輝かせよう」をテーマとした講演会、各種体験など

主催団体 佐倉市ボランティア連絡協議会

お問合せ 佐倉市ボランティアセンター内 ☎043-484-6198

# まちづくりよ

平成29年度「市民協働事業」のご紹介



# 市民協働事業(市民提案型)3事業をご紹介

## NPO 法人ほっとすペーす・つき

### 「家庭訪問型子育て支援」ホームスタート・さくら

「ホームスタート」とは、イギリス発祥の子育て支援活動で、児童福祉のソーシャルワーカーであるマーガレット・ハリソン氏が“親による親支援”と“地域ボランティアによるピア(仲間)サポート”が、親の子育て意欲向上に効果があると提唱し、1973年からスタート。現在では世界22ヶ国に広がり、日本国内で約100箇所、佐倉市では一昨年、「ホームスタート・さくら」が旗揚げされました。

「ホームスタート・さくら」は、子どもから高齢者までの居場所作りなどを



一緒に育児を楽しむママとホームビジター

とする18名の市民ボランティアで活動しています。妊婦さんと未就学児のいる家庭を対象に、専門の養成講座を受講した“ホームビジター”と呼ばれる市民ボランティアが家庭を訪問。子育てしている中で抱えるママ(利用者)の様々な悩みや要望などに耳を傾け(傾聴)、一緒に公園に行ったり、食事を作るなど共に行動(協働)することで解決をはかり、子育てを後押ししています。

ママからの依頼は、「引っ越ししたばかりで地域がわからない」「話相手がない」「小さい子どもが複数いる為、気軽に買い物に行くことができない」などの悩みが多く聞かれます。依頼を受けると、まずはママとホームビジターのパイプ役である“オーガナイザー”と呼ばれる主軸のスタッフが自宅を訪問し、ママの人柄や要望などを確認した上で、専任のホームビジター選び、役目を引き継ぎます。ホームビジターは1回につき2時間程度(全4回/無料)、ママの要望に沿って家事や育児などを一緒に行い心を交わせることで、ママの不安を軽減し、育児意欲を高めてもらうよう、先輩ママとしてサポートします。

18名のホームビジターは、30~70代と年齢層が幅広く、時に友達のように、母のように、優しいまなざしでママの話に耳を傾けます。ホームビジターの4回の訪問が終わる頃には、ママの表情や気持ちにも小さな変化が生まれます。ママからは「話を聞いてもらい、我が子を可愛がってもらう姿を見て、改めて宝物を育てていることを実感できました」という声も寄せられます。

一方で、子育て中の方の中には、電話1本入れる勇気が持てない方もいることが想像され、本当に必要としている方に手を差し伸べることができるよう、自分達の活動を広く知ってもらう必要性も強く感じています。

細部に行き届いた子育て支援の実現には、ホームビジターの数が足らず、子育て経験者の市民の力を募集中です!一緒に地域で子育てに悩むママを応援しませんか!



オーガナイザーとホームビジターの皆さん

## 長いすの会

### コミュニティカフェ「憩え場」「しゃべり場」

少子高齢化が進み、地域住民の連携・連帯が重要とされる中、誰もが気軽に集まりお茶や食事を楽しみながら、地域の人たちが繋がりを構築できるコミュニティカフェの必要性を感じ、「長いすの会」を発足。今年10月で丸4年になりました。

活動の柱は、市内在住の65歳以上の方を対象とした年4回開催昼食付きの「憩え場」(3時間)と、志津地区在住者を中心に毎月開催している「しゃべり場」(2時間)です。

「憩え場」の大きな目玉は、「長いすの会」会長であり、市内公民館等で料理教室講師としても活躍中の加藤さんが腕をふるう昼食。料理を通して季節を感じて貰えるよう、市内の新規就農者から旬の野菜を仕入れ地産地消をはかるとともに、栄養バランスを考えた、「美味しい!」と言って貰える料理作りに尽力しています。

「憩え場」、「しゃべり場」とともに、毎回テーマを設けているのが特徴で、ギター奏者を招いて“昭和のうた”を合唱したり、佐倉市消費生活センターから講師を迎え、テレビ通販の注意を喚起したり、健康体操の講師を招いて体操を行うなど、参加者の要望や季節感を重視した企画が参加者を飽きさせません。2月のバレンタインシーズンには、青春時代に返って貰おうと、会のメンバーが毛糸で編んだおさげ髪やリボンなどを用意し、参加者に若返りを楽しんでもらいました。

会のメンバーは現在15名で60~70代。介護士や保育士、民生委員など、地域福祉に携わる者が大半で、企画力に富んだ人、テーブルコーディネートが得意な人、歌が上手な人など、それぞれメンバーの得意な部分を活かしながらチーム力で進めています。加藤さん考案の料理についても、メンバー同士で試食を重ねて本番に臨むなど準備に労を惜しません。

数少ない男性メンバーの一人、企画・広報担当の岡田さんは、毎回趣向を凝らした企画を練り、12月の「憩え場」では、忠臣蔵をテーマに“討ち入り体操”を計画中です!

参加者はリピーターが多く、その大半が女性です。長年会社勤めをしてきた男性は、なかなか地域に溶け込めず、家にこもりがち。そんな男性にもっと多く参加していただき、コミュニティカフェの役割を理解していただくことが今後の課題です。

コミュニティカフェ「憩え場」と「しゃべり場」では、“皆で食べると美味しい!”を実感して頂き、多くの人と触れ合い、様々な企画を通して、住民同士の結びつきはもちろん、認知症や介護予防にも繋げていきます。参加者の喜びは自身の喜びであり、参加者との信頼を築いていくことを大切に、「長いすの会」は5年目を歩みます!



消費生活センターによる出前講座の様子

## 草笛&リーフル ハッピーはっぱ

### 風と緑と華の祭典

草笛の素朴な音色に魅了され、当初数人で発足した「草笛&リーフル ハッピーはっぱ」は、今はたくさんの草笛愛好家とともに活動を行っています。年間を通して主に行っている介護施設などの訪問演奏は高齢者の方々に大変好評をいただいている。幼い頃を懐かしみ、その音色に涙する方もいます。

また、毎月1回佐倉草ぶえの丘では「草笛遊々塾」を開催し、草笛の演奏を通じた交流を図り、来場者に草笛体験教室を行っています。季節折々、どんぐりなどの自然の中にあるものを使った野遊びなども行い、来場者に大変喜ばれています。体験教室は口コミでひろがり、知名度もかなりアップしてきました。

こうした演奏会や体験教室などを重ね、個々の技量も向上する中、昨年度は平成29年1月14日に、草ぶえの丘で「草笛吹き初め 昼下がりCaféテラス」を開催し大変ご好評をいただきました。

そして昨年度に引き続き、今年度は平成29年10月14日に『草笛コンサート～昼下がり Caféテラス～「風と緑と華の祭典』を草ぶえの丘で開催する運びとなりました。

指導者クラスの人から愛好家の人まで20人以上の草笛演奏者が、次々にヤマイモやオオバコなどの葉っぱ一枚で自由自在にメロディーを奏でました。演奏曲は日本の童謡や歌謡曲、外国民謡などバラエティーに富み、ギターやハープとのコラボなども披露され、来場者の耳を楽しませました。またゲストにガリ版アートと孔版画のアーティストの西岡さんを迎えて、作品を展示するなど、とても和やかな昼下がりのカフェテラスを演出しました。

会場となった草ぶえの丘は、風の音、森の香り、小鳥のさえずりと自然に満ちたとても素晴らしい環境です。四季折々の草花や昆虫などが息づく、その森の中にある葉っぱ一枚を探り、奏でる草笛の音色は心癒されます。

代表の岡本さんは草笛の活動以外にも日々、介護施設などで様々なボランティア活動に参加していますが、「草笛を通して、佐倉の自慢がいっぱいの佐倉草ぶえの丘を拠点に草笛を通じた交流の輪を広げていきたい」と熱く語られました。



『草笛コンサート～昼下がり Caféテラス～「風と緑と華の祭典』

## 市民協働事業(市民提案型)

市民協働事業(市民提案型)は、市民公益活動団体が自主的・主体的に取り組む事業で、かつ市と目的を共有して取り組むことで、地域の活性化や社会・地域の課題解決を図ることを目的に、平成29年度は3事業が採択されました。